

白馬村第 5 次総合計画前期計画の検証について

白馬村総務課

1. 前期計画の検証

総合計画では、開かれた村政と住民参画の推進を村政運営の基本とし、計画期間中は、事業の達成度や時代潮流の変化を確認するために、計画が進捗しているかの検証を行うための組織の設置、コーディネーター役の配置、P D C A サイクル仕組みの構築などを行い、随時点検と見直しを行っています。評価の方法については、総合計画、総合戦略の重要業績評価指標（K P I）を内部（役場）と外部（住民）が P D C A サイクルに基づき、事業進捗状況を確認するため、毎年度評価を実施しています。

本年度は、10年間の計画期間の中間年度となり、令和2年度から令和7年度までの5年間の後期計画の策定を行う年となります。そのため例年行っているそれぞれの指標の評価とは別に、前期計画で定めた K P I と令和元年度までの実績値で、大きく乖離をしている事業について、後期計画での指標を設定していくうえ指標自体が適切であるか、また K P I が適切であるかを検証していただく必要があります。

2. 検証作業の流れ

今回は、前期計画で設定をしたすべての指標について検証を行っていただくだけでなく、上記で記載している通り、K P I と実績値が大きく乖離をしている事業について、事務局で抽出し、その指標について後期計画で継続するか、K P I を見直すべきか、廃止すべきかを検証していただきます。

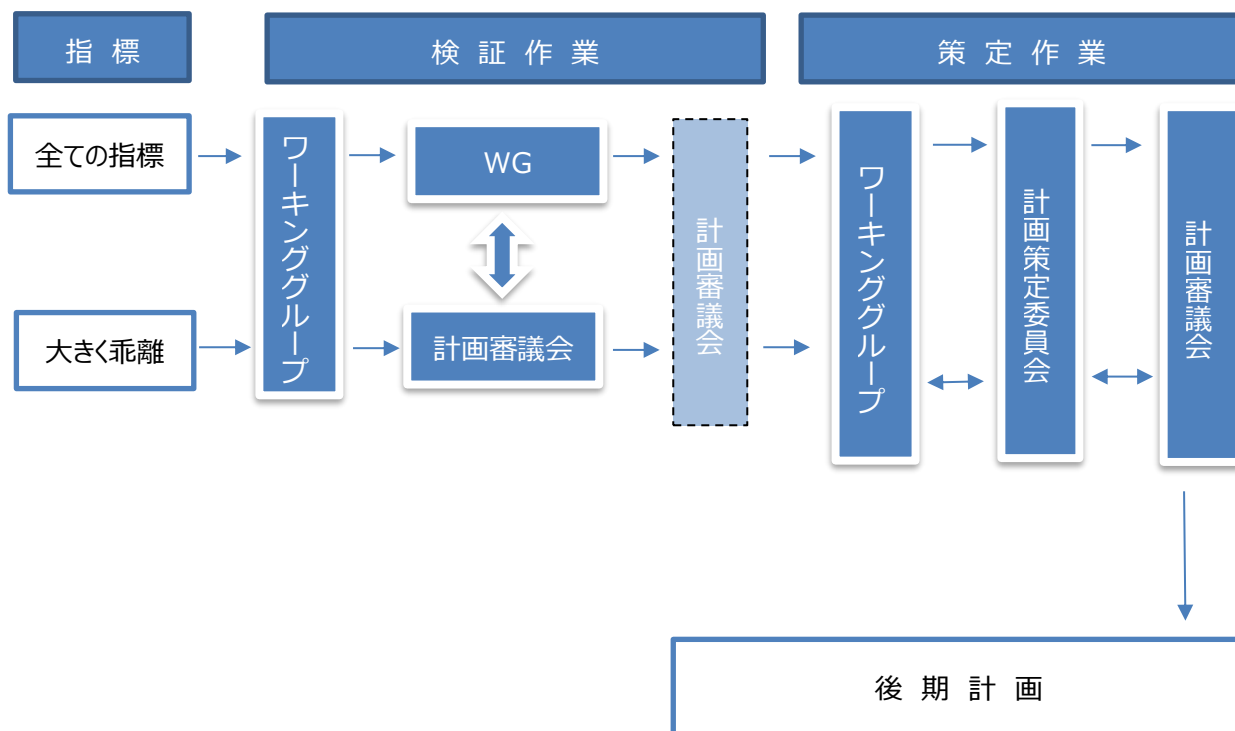
検証にあたっては、必用に応じてそれぞれの担当課から示された K P I が乖離をしている理由について説明を行います。

3. 検証後の作業について

今回の審議会終了後、「白馬村総合計画策定方針」に基づき、審議会で検証を行った内容を含め、すべての指標について庁内ワーキンググループ、計画策定委員会で内部検証を行い、継続・一部修正・廃止・新規設定として集計し、後期計画の素案の策定を行います。素案策定が完了次第、次回以降の計画審議会に提示し、内容について審議いただきます。

審議いただいた内容をワーキンググループに戻し、計画策定委員会、計画審議会と作業を重ねることで、後期計画の策定を進めます。

○作業イメージ



○「PDCAサイクル」とは

事業の管理業務を円滑に進める手法の一つ。

Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する仕組みを言います。

